



kuppography

25年の感謝を込めて これからもずっと変わらぬ『第二のわが家』を



せたがやハウス25周年募金委員会
目標金額 **5,000万円**

ご挨拶



せたがやハウス25周年募金委員会 委員長
国立研究開発法人 国立成育医療研究センター 病院長
笠原 群生

皆様におかれましては、平素より一方ならぬご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

2001年の開設以来、「ドナルド・マクドナルド・ハウス セタがや（以下、せたがやハウス）」は、皆様のご寄付やご支援、ボランティアの方々のご協力で今日まで運営してまいりました。そして来る2026年12月に、開設25周年を迎えます。

「せたがやハウス」に隣接する国立成育医療研究センターは、お子様をはじめ、妊産婦の重症疾患や希少疾患などの治療・研究を専門とする国内最大級の施設です。国内はもちろん、さまざまな国と地域から患儿さんが訪れます。

ご自宅を遠く離れ、長期の入院や治療に寄り添うご家族の経済的・肉体的・精神的な負担は図りしれません。

そのため1人1日1,000円という利用料で、病院の隣で「わが家」と同じように生活できる「せたがやハウス」は、ご家族にとって大きな助けであり、頼もしい存在であると思います。また、医療従事者にとっても、ご家族が常時近くにいて緊密に連絡を取れることは大きなメリットです。

ただ、残念ながら「せたがやハウス」の部屋数には限りがあります。

昨年（2024年）は1年間で約1,100家族から利用申込みがありましたが、うち約120家族は満室のためお断りせざるを得ませんでした。

今回の募金では、現在の23室から3室増やし、全26室にすることを目的の一つにしています。これにより年間約100家族を新たに受け入れることが可能になります。

また、外壁等の経年劣化も修復し、ハウスの快適性と安全性も高めていく予定です。

「せたがやハウス」と国立成育医療研究センターはチームとして、今後も患儿とご家族を支えていきます。皆様には本募金の趣旨をお汲み取りいただき、ぜひご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ご挨拶

世田谷区長 保坂 展人



「ドナルド・マクドナルド・ハウス セタがや」の募金委員会設置にあたりご挨拶申し上げます。

「せたがやハウス」は、2001年に国内第1号として開設され来年で25周年という節目を迎えようとしています。

この間、困難な病気に向き合う子ども達とそのご家族の支援にご尽力されていますことに深く感謝を申し上げます。

この度、「せたがやハウス」の増室と大規模改修を行うために募金委員会を設置し、寄付を募るとのことですが、私もメンバーの一員として委員会に加わり協力させていただくことといたしました。この場があることがどれだけ貴重であるのかを多くの人に知ってほしいと思っています。

少子高齢社会を迎える今、安心して子どもを育てられる環境づくりや、生きがい・やりがいの創出に向けたボランティアの普及啓発、小児医療を地域で支える仕組みづくりについて区としても支援を行ってまいりたいと考えております。今後も「せたがやハウス」が地域に根差し、ますますご発展することを祈念いたしまして、私の応援のご挨拶とさせていただきます。

ドナルド・マクドナルド・ハウスとは

「ドナルド・マクドナルド・ハウス」は、病気の子どもの治療に付き添うご家族をサポートするために生まれました。コンセプトは" Home-away-from-home "わが家のようにくつろげる第二の家。病気の子どもに付き添うご家族が、自宅にいるようにゆったり過ごせること、それがハウスの願いです。ハウスでは、日常生活がスムーズにおくれるように、自炊ができるキッチンやリビング、ダイニング、ランドリーやプレイルームを完備し、プライバシーを守れるように配慮したベットルームもご用意しています。ハウスの運営は100%寄付と募金で賄われており、1人1日1,000円で利用できるようになっています。" Keeping Families Close "、どんな時でも家族が一緒にいられるように。それが私たちの願いです。

「せたがやハウス」は2001年12月、日本で第1号のハウスとして誕生し、2026年に25周年を迎えます。東京都世田谷区の国立成育医療研究センターと同じ敷地内にあり、日本各地はもちろんのこと、海外からのご家族も受け入れています。「せたがやハウス」では 約200名のボランティアのみなさんが毎日活動し、訪れるご家族を私たちスタッフとともに支えています。

表紙のご家族からのメッセージ

24年前の利用者吉野やよいです。

当時 私は末期がんの治療のため、沖縄から国立成育医療研究センターに入院し治療をしていたため、母が沖縄の家族と離れ、「せたがやハウス」に滞在し私の看病をしていてくれました。とても辛い闘病生活の中、外泊許可を心の励みにしていました。沖縄の自宅まで帰ることができないので、「せたがやハウス」に外泊許可をもらいました。ハウスでは、ボランティアの方に『わが家だと思って過ごしてね』と優しく話しかけられて、とてもホッとしました。滞在中は、母がハウスのキッチンで日常のように食事を作り、自宅と変わらないように過ごしました。この時の私にとって、ハウスに滞在したことは、闘病生活を送るうえでとても励みになりました。

その後、小児がんを克服し、2020年11月には国立成育医療研究センターで、長男を出産しました。闘病から24年経った今、私は母になることができました。私が闘病をしていた頃は、情報が何もなく病室でとてもつらい状況にありました。今は求めれば情報は入る時代になっています。私と同じような病気の子どもたちが、少しでも救われ笑顔になれるように。また、この経験を語ることでご家族や誰かが少しでも笑顔になることが出来たら...そんな気持ちを込めて発信させていただいています。

この先も、私と同じような病気の子どもたち、そしてその家族に寄り添い、人の温かい想いが集い支え合う、家族のようなハウスであり続けて欲しいと願っています。どうか、みなさんの温かなご支援どうぞよろしくお願い致します。



24年前ハウス利用当時の吉野やよいさんとお母さま

寄付の使途 ～より安心安全そして快適に滞在していただくために～

3室の増室とユニバーサルルームの設置

今までは浴室のない部屋もありましたが、すべての部屋に浴室またはシャワールームを設置します。また3室のうち2部屋は車椅子等でも快適にお過ごしいただけるユニバーサルルームを設置します。

中庭・エントランスの整備

夜間でもハウスまでの道がほんのり明るく照らされ、また四季を感じホッとできるよう、より安心安全に過ごしていただけるよう整備します。(防犯上も向上)

ご家族に毎日食事を提供するための環境整備

付き添い中のご家族は、ご自身の食事がおろそかになりがちですが、食事を提供するための専用キッチンや食材等も含め環境を整備し、毎日食事を提供することで、付き添いご家族の健康面や精神面をサポートします。



寄付金募集要項

名称 せたがやハウス25周年募金委員会

寄付を必要とする理由

「せたがやハウス」は2001年、日本で最初のハウスとして誕生し、ご家族を支える“第二のわが家”として歴史を重ね、25年を迎えようとしております。

しかし建物や設備の老朽化が進み、また満室のためにご利用をお断りせざるを得ない状況が続いています。

そこで「せたがやハウス」は、大規模修繕工事を行うとともに、3室の増室とユニバーサルルームの設置、夜間も安心できるエントランスまわりの整備、そしてご家族に毎日の食事を提供するため専用キッチン等の設備導入を含む環境整備を行い、より多くのご家族に安心・安全・快適な滞在を届けることが計画されています。

私共は、この計画の実現に向け委員会を立ち上げ募金活動を展開いたします。

この先もハウスを必要とするご家族のために、皆さまの温かいご支援を心よりお願い申し上げます。

寄付使途

①増室とユニバーサルルーム設置

②中庭、エントランスの整備

③毎日食事を提供するための環境整備

■目標金額 50,000,000円

■募集期間 2025年10月～2026年8月(予定)

■寄付の方法

【パソコンから】note.dmhcj.or.jp 【携帯・スマートフォンから】

【銀行振込の場合】

口座名義:公益財団法人 ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン
三井住友銀行 麹町支店 普通預金 8802222

●お振込み後、以下の内容を「お問い合わせ先」までE-mailまたはFAXにてご連絡ください。(FAXの場合は添付の寄付申込書を使用)

1.お振込名義 2.お振込日 3.ご支援金額 4.領収書の宛名・送付先住所 5.ご連絡先電話番号

●個人10万円以上、法人20万円以上の寄付でご希望により感謝の樹へのご芳名プレートの掲載をいたします。

税制上の優遇措置について(寄附控除) 当財団への寄附は、個人・法人ともに税制上の優遇措置を受けることができます。

個人の方:所得税の控除が受けられます(以下のいずれかを選択)

所得控除:(寄附額-2,000円)×所得税率 税額控除:(寄附額-2,000円)×40%(※控除上限あり)

また、以下の地域にお住まいの方は住民税の控除も適用されます。

東京都、宮城県、埼玉県、大阪府、福岡県、札幌市、仙台市、さいたま市、府中市、名古屋市、摂津市、神戸市、新潟市

法人の方:当財団は公益法人として認定されており、寄附金は通常の損金算入枠とは別に、特別損金算入限度額の範囲内で損金算入が可能です。

※控除の内容や申告方法は、所得や資本金等により異なります。詳細は、お近くの税務署または税理士にご相談ください。



せたがやハウス25周年募金委員会名簿

代表 笠原 群生 国立研究開発法人 国立成育医療センター 病院長

委員 保坂 展人 世田谷区長

委員 梅澤 明弘 国立研究開発法人 国立成育医療センター 研究所長

委員 伊藤 隆一 公益社団法人 日本小児科医会 会長

委員 安藤 秀彦 一般社団法人 世田谷区医師会 会長

委員 池上 晴彦 一般社団法人 玉川医師会 会長

委員 柳橋 礼子 公益社団法人 東京都看護協会 会長

委員 富田 勝司 一般社団法人 世田谷薬剤師会 会長

委員 高野 和則 一般社団法人 玉川砧薬剤師会 会長

委員 三井住友銀行 成城支店 支店長

委員 黒田 康裕 祖師谷南商店街振興組合 代表理事

委員 長島 日出男 砧町町会 会長

委員 安藤 茂 大蔵東部町会 会長

委員 神田 康範 株式会社サンロッカーズ 代表取締役社長

委員 櫻井 哲郎 ブルデンシャル生命保険株式会社

委員 新妻 愛 東京すずらんライオンズクラブ 会長

委員 竹内 久雄 株式会社ドリーム 代表取締役社長

委員 権田 修一 DMHCアンバサダー

委員 大須賀 由香 せたがやハウス家族会

委員 加藤 亜里沙 せたがやハウス家族会

委員 村木 晴子 せたがやハウス家族会

委員 吉野 やよい せたがやハウス家族会

委員 塩田 勝久 せたがやハウスボランティア

委員 秋田 由紀子 せたがやハウスボランティア

委員 畑 道子 せたがやハウスボランティア

委員 中西 博 せたがやハウスボランティア

【お問い合わせ先】ドナルド・マクドナルド・ハウス せたがや

〒157-0074 東京都世田谷区大蔵2-10-10(改修中) TEL 03-5494-5534 FAX 03-6911-6198 e-mail:setagaya.house@mail.dmhcj.or.jp